

PRESS RELEASE

2020年3月17日

the b ホテルズ

新型コロナウイルス感染防止に向け、「the b ホテルズ」が ビジネスパーソンおよび新生活を迎える方を応援 「the b マンスリーパスプログラム」限定提供

～日本国内「the b」の18ホテルにいつでも自由に泊まれるサポートプログラム～

全国主要都市で18のホテルを運営する「the b」は、新型コロナウイルス感染防止に向けて、ビジネスパーソンや春に新生活を迎える方々のために「the b マンスリーパスプログラム（以下、「本プログラム」という）」を4月まで限定でご提供します。

本プログラムは、新型コロナウイルス感染拡大防止策で時差通勤やテレワークの試みが全国で広がる中、自宅でテレワークできない、通勤リスクをなくしたいビジネスパーソンや4月からの新生活を予定通りにスタートできないなど、さまざまな事情でお困りの方を応援するプログラムです。



客室写真（左：the b 赤坂見附、中：the b 大阪 御堂筋、右：the b お茶の水）

「the b マンスリーパスプログラム」について

■通常提供価格3分の1以下の料金でご提供（土日祝日の宿泊料金アップなし）

本プログラムは、お客さまのニーズに合わせて、1泊3,000円（消費税込）の合計30泊を上限とした90,000円（消費税込）の「マンスリーパス30」と、ハーフ期間の合計15泊を上限とした50,000円（消費税込）の「マンスリーパス15」をご用意。館内は無料のWi-Fiを完備し、ロビーには淹れたてのコーヒーをお好きなだけお楽しみいただける『フリーエスプレッソステーション』をご用意。お仕事の合間や、お目覚めのお供にご利用いただけます。

ご利用可能な泊数分、いつでも、どこでもお好きな時刻にチェックイン・チェックアウトができます。

■「the b」の18ホテルをいつでも自由に宿泊可能

「the b」は、日本全国主要都市の交通利便性に優れたエリアに立地し、全18ホテルがターミナル駅から徒歩圏内にあるため、通勤時間の短縮や快適な出張生活をサポートします。

【ホテル所在地】

札幌すすきの、六本木、赤坂、赤坂見附、新橋、池袋、お茶の水、水道橋、浅草、三軒茶屋、八王子、名古屋、神戸、大阪御堂筋、京都三条、京都四条、博多、福岡天神

【ご利用シーン】

- ・どうしても通勤や出張が必要なビジネスパーソン
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、4月からの新生活を予定通りにスタートできない方
- ・家族のサポートなどで長期宿泊が必要な方
- ・ワークスペースとして利用したい方

【ご利用例】

■ マンスリーパス 30 【1泊 3,000円（消費税込） 合計：90,000円（消費税込） / 上限 30泊】 の場合

4/1～4/15（15泊） 「the b 六本木」宿泊	4/16～4/30（15泊） 「the b 大阪 御堂筋」宿泊
--------------------------------	------------------------------------

■ マンスリーパス 15 【1泊約 3,333円（消費税込） 合計：50,000円（消費税込） / 上限 15泊】 の場合

4/1～4/5（7泊） 「the b 新橋」宿泊	4/10～4/15（8泊） 「the b 博多」宿泊
-----------------------------	-------------------------------

【概要】

宿泊プラン名	the b マンスリーパスプログラム
予約受付期間	2020年3月17日（火）9：30～2020年4月15日（水）18：00
対象宿泊期間	2020年3月20日（金）～2020年4月30日（木）
ご提供価格	マンスリーパス 30：90,000円（消費税込）※上限 30泊、同伴者 2名まで。 マンスリーパス 15：50,000円（消費税込）※上限 15泊、同伴者 2名まで。
予約方法	the b 予約センターにて、予約を承ります。 Tel：03-5733-7347（受付時間/平日 9：30～18：00） Email： reservation@ishin-jp.net （土日祝日の場合、返信は翌営業日となります。） ※ホテル現地での予約は承っておりませんので、何卒ご了承ください。



the b hotels について

都市観光客をターゲットにした新しいスタイルのホテル（都市型ホテル）のパイオニアである「the b」は、全国主要都市の交通利便性に優れた、魅力的なエリアを立地として選定していることが特徴です。また、「おもてなし」—ホスピタリティ精神—でも高く評価され、適切かつ一貫性のある上質なサービスを提供できるホテルとして、利用者の期待に応えています。

今後も常にその時代に合った“ベーシック”を提供し、ゲストが安心して心身をゆだねられる、感性豊かなホテルであり続けることを目指します。